

【別表2】 第3期知床半島エゾシカ管理計画のモニタリング項目

評価項目	実施主体	モニタリング項目	目的・内容	調査地	計画期間						
					2017	2018	2019	2020	2021		
植生	詳細調査 (調整地区+ルシヤ)	環境省	簡易的な手法による指標種の回復量調査	個体数調整地区におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、森林植生・草原植生に固定調査ラインにより指標種の開花株数等のモニタリング調査を隔年で行う。	知床岬・幌別-岩尾別(ルシヤ)	○	○	○	○	○	
		林野庁	植生影響調査(森林植生、草原植生)	個体数調整地区におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、固定調査区のモニタリング調査を行う。森林植生は、林床・稚樹・下枝調査を隔年、毎木調査を5年間隔程度で実施する。草原植生は、隔年で実施する。	知床岬・ルサー-相泊・幌別-岩尾別(ルシヤ)	○	(○)	○		○	
		環境省			知床岬・幌別(フレベの滝)	森林知床岬	幌別	森林知床岬	幌別	森林知床岬	
		林野庁	植生保護柵を用いた回復過程調査	植生保護柵の配置・規模の検討、個体数調整後の推移の予測のため、個体数調整地区に設定した保護柵内外の植生調査を行い、植生の回復状況などを把握する。現在森林調査区3か所(知床岬・幌別・岩尾別)、草原調査区3か所(全て知床岬)が設置されている。知床岬・幌別の森林調査区は林床・稚樹・下枝調査を隔年、毎木調査を5年間隔程度で実施、岩尾別は5年間隔程度とする。	知床岬・幌別・岩尾別	知床岬 幌別・岩尾別	—	知床岬 幌別	—	知床岬 幌別	
		環境省			知床岬						
		環境省	エゾシカ採食量と回復量の短期的な調査	エゾシカ許容密度(各越冬地での捕獲目標数)の検討のため、密度操作実験を行う越冬地にイネ科草本、ササの採食圧調査プロットを設定し、エゾシカの密度変化に対する植生の変化を把握する。知床岬は終了。	知床岬 ルサー-相泊 幌別-岩尾別	ルサのみ	ルサのみ	ルサのみ	ルサのみ	ルサのみ	
	広域調査	林野庁	植生影響調査(森林植生)	半島全体におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため固定調査区のモニタリング調査を行う。春刈古丹、宇登呂の森林調査区は、林床・稚樹・下枝調査を隔年で実施、その他の森林調査区は5年間隔程度で実施する。全ての森林調査区は、毎木調査を5年間隔程度で実施する。	全域の越冬地(標高300m未満)・ 標高300-600m	○	○	○	○	○	
		環境省	植生影響調査(海岸植生)	半島全体における植生の長期モニタリングとシカ採食圧の把握のため、海岸植生の群落構造・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、エゾシカの影響が見られる調査区等については概ね5年に1回程度モニタリング調査を行う。	全域の海岸植生				海岸 (斜里側)	海岸 (羅臼側)	
		環境省	植生影響調査(高山植生)	半島全体における植生の長期モニタリングとシカ採食圧の把握のため、高山植生の群落構造・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、エゾシカの影響を迅速に確認するための調査区(知床連山・羅臼湖)については概ね5年に1回モニタリング調査を行う。	全域の高山・亜高山植生		連山	羅臼湖		遠音別岳	
		環境省		硫黄山の固定方形区にて、シトロコスミレの分布状況及び採食の状況を確認する。	硫黄山周辺(シトロコスミレ)	○(当面は毎年モニタリング)					
	エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	環境省	エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)および捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地においてライトセンサスや航空機からのカウント等を行い、個体数の増減傾向及び群れ構成等を把握する。	知床岬(航空カウント)	○	○	○	○	○
			斜里町 羅臼町 知床財団			幌別-岩尾別・ルサー-相泊・真鯉	○	○	○	○	○
知床財団・ 林野庁			知床岬(自然死亡の把握困難)								
広域的調査		環境省	エゾシカ越冬群の広域航空カウント	植生保護柵の配置や個体数調整の実施等の検討のため、ヘリセンサスによる越冬群の分布・規模等を把握(半島規模の生息数推定も合わせて実施)する。次回は2020年度の実施を予定。	全域	遺産地域内	遺産地域内	遺産地域内	○	遺産地域内	
		環境省	越冬地エゾシカ実数調査	捕獲数の検討のため、越冬地全体、あるいは一部区域のシカを追い出し、実数を把握する。		○					
		環境省	エゾシカ季節移動調査	個体群管理に向けた地区区分設定のため、電波発信器等を用いて各越冬群の季節移動状況の詳細情報を把握する。	全域	ルシヤのみ	ルシヤのみ				
土壌浸食	詳細	環境省	土壌浸食状況調査	土壌浸食の実態及び原因を把握する。5年に1回とし、次回は2017年度に実施予定。	知床岬	○					
	広域	環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	広域的な土壌浸食の発生場所、規模等を把握する。	全域	広域植生調査に併せて実施					
生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に昆虫の生息状況によって把握する。(次回実施は2018年前後を予定)	知床岬・幌別・羅臼			○			
		環境省	陸生鳥類生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に鳥類の生息状況によって把握する。(次回実施は2018年前後を予定)	知床岬		○				